

## 中学校第3学年 保健体育科学習指導案

学習指導者 高松市立山田中学校 林田 浩美

1 単元名 「健康な生活と疾病の予防 医薬品の利用」

2 単元計画（総時間数 7時間【本時5／7】）

○感染症の発生要因と感染経路、予防対策について考える。（4時間）

○個人や社会の取り組みの重要性や保健・医療機関の有効な利用、医薬品の正しい使い方について考える。（3時間）

3 授業の見どころ

生徒がこれまでの経験を想起し、医薬品を有効利用するために、医薬品の形状の意味や使用方法について考える時間を確保する。提示した医薬品の説明文書注意書きに書かれていることが、医薬品の副作用についてであることに気づき、医薬品の正しく使用することや注意書きをよく読む習慣を身に付けることを理解することができる。

4 本時の学習指導

(1) 目標

医薬品にはさまざまな形状あり、使用方法が定められている。使用方法について、注意書きが示されている理由を考えることを通して、医薬品の正しい使い方を理解することができるようにする。

(2) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	指導上の留意点及び評価
<p>1. 次のような症状があったときに、どのように対応するかを考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ころんでひざをすりむいたとき</li> <li>・熱が出たとき</li> <li>・お腹が痛くなったとき</li> </ul> <p>2. 学習課題を確認する。</p>	<p>○これまでの経験をもとに意見を出させる。</p> <p>○医薬品を使用する場面があることを確認し、学習課題につなげるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     医薬品の正しい使い方について知ろう。                 </div>	
<p>3. 医薬品の形状や使用方法について考える。</p> <p>(1) グループでブレインストーミングを行い、どのような形状の医薬品があるか出し合い、分類する。</p> <p>(2) 医薬品の説明文書を見て、何が書かれているか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用方法（使用回数・使用時間・使用量など）</li> </ul>	<p>○使用したことがある医薬品をイメージできるよう、医薬品のパッケージの例を示す。</p> <p>○目的や用途によって分類することができ、形状には意味があることに気づかせる。</p> <p>○医薬品のパッケージに書かれている説明文書を提示し、気づいたことをワークシートに記入していくように促す。</p> <p>○使用方法が定められていることの原因を考えさせ、医薬品の主作用について説明する。</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>指導の重点項目</b></p> <p>4. 使用上の注意書きが示されている理由を考える。</p> <p>（発問）「服用後乗物または機械類の運転の操作をしないこと」と書かれているのはなぜでしょうか。</p> </div>	<p>○すべての医薬品には副作用があることを知り、正しく使うために注意書きが示されていることを押さえる。</p>
<p>5. 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で学んだことをワークシートにまとめる。</li> </ul>	<p><b>思考・判断・表現</b></p> <p>●医薬品の主作用、副作用について理解し、正しく使用することが、副作用の危険を減らすことにつながると思えることができる。[ワークシート]</p>